

夏期音楽講習会 講師プロフィール

ポップスアレンジ講座

武部聡志 (たけべ・さとし)

国立音楽大学在学中よりキーボーディスト・アレンジャーとして数多くのアーティストを手掛ける。1983年より松任谷由実コンサートツアーの音楽監督を担当。1990年より本格的にプロデューサーとしての活動を始め、一青窈、今井美樹、JUJUなどのプロデューサーやCX系「僕らの音楽～OUR MUSIC」「FNS 歌謡祭」の音楽監督、今夏公開予定のスタジオジブリ作品「コクリコ坂から」の音楽担当など多岐にわたり活躍している。



作曲分析講座

山口博史 (やまぐち・ひろし)

立教大学卒業。1973年～80年パリ音楽院留学。シャラン、アンリ、ビッチ、カステレード、コンスタン氏に師事。和声、対位法、フーガで一等賞受賞。1976年ノエル・ギャロン賞受賞。1980年より国立音楽大学作曲科で教鞭を取る。現在、同大学教授。1981年より東京芸術大学ソルフェージュ科で講師を務める。

<主要作品>「魔法の家：男声合唱組曲」(東京音楽社 1992)「夏の三重奏曲 バッソ、フルート、ピアノのための」「フルート、バスン、ハーブと弦楽のための協奏曲」(2001) 音楽之友社よりシューマンの「子供の情景」、全音楽譜よりサンサーンス、プロコフィエフ、フランク等の作品分析、解説が多数あり。日本ソルフェージュ研究協議会理事。



音楽基礎理論講座

初級

岩河智子 (いわかわ・ともこ)

国立音楽大学作曲科首席卒業、同大学院音楽理論科修了。東京と札幌で、音楽理論による演奏指導・講習会を多数開催。特に札幌室内歌劇場の音楽監督として20年に渡り音楽理論に立脚したオペラ作りを展開。作曲家としては、オペラ「青い鳥」「小人の靴屋」合唱組曲「かなしいおとなのうた」「おとなのための童謡曲集」など多数の作品がある。国立音楽大学・大学院非常勤講師、札幌室内歌劇場音楽監督、日本歌曲振興会会員。



中級



山口博史 (やまぐち・ひろし)

立教大学卒業。1973年～80年パリ音楽院留学。シャラン、アンリ、ビッチ、カステレード、コンスタン氏に師事。和声、対位法、フーガで一等賞受賞。1976年ノエル・ギャロン賞受賞。1980年より国立音楽大学作曲科で教鞭を取る。現在、同大学教授。1981年より東京芸術大学ソルフェージュ科で講師を務める。

<主要作品>「魔法の家：男声合唱組曲」(東京音楽社 1992)「夏の三重奏曲 バッソ、フルート、ピアノのための」「フルート、バスン、ハーブと弦楽のための協奏曲」(2001)

音楽之友社よりシューマンの「子供の情景」、全音楽譜よりサンサーンス、プロコフィエフ、フランク等の作品分析、解説が多数あり。日本ソルフェージュ研究協議会理事。

上級

鶴崎庚一 (うざき・こういち)

東京芸術大学作曲科卒。作曲理論勉強のためフランス国立パリ高等音楽院留学。一等賞首席(フーガ)。国立音楽大学名誉教授、(社)日本作曲家協議会員、(社)日本音楽著作権協会。

[作品] 和声もまなぶピアノアルバム(音楽之友社)、144の新曲練習(カワイ出版)、おさらい会のためのピアノ小品集(レッスンの友社)、視唱73の練習曲(レッスンの友社)、ピアノ小曲集「風が歌う歌」(カワイ出版)、トレーニング・オブ・アナリゼ=ブルクミュラー25練習曲(カワイ出版)、ピアノのための譚詩(JFC)、ピアノのための組曲「夢の国から」「オーバード」(カワイ出版)、「冬のもてこし」(全音楽譜出版社)

等歌曲、吹奏楽のための「カマラード」(カワイ出版)他木管金管合奏曲、弦楽合奏曲、合唱曲等多数。



音楽療法講座

阪上正巳 (さかうえ・まさみ)

1983年金沢大学医学部卒業。1989-1990年ウィーン大学精神医学教室に留学。同時にウィーン国立音楽大学音楽療法科聴講生として学ぶ。国立精神・神経センター武蔵病院医長を経て現在、国立音楽大学教授。医学博士。精神保健指定医。著書・翻訳書：『精神の病いと音楽』(廣済堂出版)、『芸術療法実践講座4 音楽療法』(共編著、岩崎学術出版社)、『音楽療法事典』(共訳、人間と歴史社)、『文化中心音楽療法』(監訳、音楽之友社)など。



蔭山真美子 (かげやま・まみこ)

東京藝術大学音楽学部器楽科ピアノ専攻卒業。同大学大学院音楽研究科応用音楽学(音楽療法)専攻博士後期課程修了。学術博士、日本音楽療法学会認定音楽療法士、同学会評議員。現在、国立音楽大学准教授、東京芸術大学非常勤講師。

ふなばし音楽療法の会「音とあそぼう」主宰。障害のある青年たちによる弦楽グループ「アンサンブル・ラルゴ」スタッフ。

<分担執筆>「大人への階段を登りゆく彼らとともに」『知的障害のある子どもへの音楽療法』遠山文吉編著、明治図書、2005年。





伊東光介 (いとう・こうすけ)

東京藝術大学作曲科卒業。在学中、フランス・パリにて即興演奏の研鑽を積む。音に関するものだけでなく、ダンスやライブペインティングにいたるまで、ありとあらゆるパフォーマーとの共演を重ね続けている。

近年は、CM 音楽にも携わっている他、構成・企画者としても様々なイベントに携わる。また、阪上正巳氏とともに約3年に渡り、患者さんとの音楽セッションを行っている。

現在、武蔵野音楽大学附属高等学校音楽科非常勤講師。

美原 盤 (みはら・ばん)

現 職 (財)脳血管研究所 美原記念病院長
慶應義塾大学医学部客員教授
應義義塾大学看護医療学部非常勤講師

公 職 全日本病院協会理事
日本音楽療法学会関東支部幹事
中央社会保険医療協議会 診療報酬調査組織 (DPC 評価分科会)
保険医療専門調査員

その他 厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業 研究分担者 (下記3研究)
1. 特定疾患患者の生活の質 (Quality of Life) の向上に関する研究
2. 難治性疾患の医療費構造に関する研究



奥村 歩 (おくむら・あゆむ)



昭和 63 年 岐阜大学医学部卒業
平成 10 年 3 月 岐阜大学大学院医学博士課程修了
平成 10 年 4 月 North Carolina Neuroscience Institute に留学
平成 12 年 1 月 岐阜大学附属病院脳神経外科 病棟医長併任講師
平成 20 年 7 月 おくむらクリニック開設・岐阜大学客員医学講師
日本脳神経外科学会評議員・日本認知症学会指導医他

遠山文吉 (とよやま・ぶんきち)

所沢市「かしの木学園」、国立久里浜養護学校、宇都宮大学教育学部附属養護学校を経て、1997年より国立音楽大学で教鞭をとる。現在、東京藝術大学招聘教授。著者に『知的障害のある子どもへの音楽療法～子どもを生き生きさせる音楽の力』(明治図書)。



八重田美衣 (やえだ・みえ)



国立音楽大学教育音楽学科卒業。ニューヨーク大学大学院音楽療法学科修士課程修了。ニューヨーク大学ノードフ・ロビンズ音楽療法センターディプロマ取得。帰国後、緑成会病院整育園音楽療法士を経て、現在、国立音楽大学、青山学院大学、昭和音楽大学、日本大学芸術学部兼任講師、日本心身障害児協会島田療育センター非常勤音楽療法士。共訳書に、ケネス・E・ブルーシア著「即興音楽療法の諸理論（上）」（人間と歴史社）、ポール・ノードフ/クライブ・ロビンズ共著「子どものためのプレイソング」（音楽之友社）がある。日本音楽療法学会認定音楽療法士。

小宮 暖 (こみや・だん)

桐朋学園大学ピアノ科卒業
ニューヨーク大学大学院音楽療法科修士課程修了
アメリカ音楽療法協会認定音楽療法士（MT-B C）
分析的音楽療法士（AMT）
茨城県豊後荘病院音楽療法士
横浜「分析的音楽療法の部屋『音の庭』」開業
洗足学園音楽大学非常勤講師
分析的音楽療法の部屋『音の庭』 <http://amt.p1.bindsite.jp/>
小宮暖のホームページ <http://amt.p1.bindsite.jp/dkpiano/>



内田博美 (うちだ・ひろみ)



ドイツ認定ディプロム音楽療法士。
東京生まれ。国立音楽大学ピアノ科卒業、横浜国立大学大学院教育学研究科修了。ドイツ・ミュンスター大学音楽療法科修了。同博士課程中退。在独11年の間に精神科病棟、障害者施設、幼稚園などで音楽療法の実践および臨床研究に携わる。2010年に帰国後、『ドイツ音楽療法センター』を設立して即興ワークショップをはじめ、音楽療法カフェ、留学相談、講演や執筆活動などを行う。著作に『音楽療法の本』ほか。

沼田里衣 (ぬまた・りい)

神戸大学大学院総合人間科学研究科修了、学術博士。日本音楽療法学会認定音楽療法士。2005年より知的障害者と即興音楽家による音遊びの会主宰。2007年より3年間、神戸大学現代GP「アートマネジメント教育による都市文化再生」プロジェクトの研究者としてコミュニティアートの研究・実践を行う。近著論文に「コミュニティ音楽療法における音楽の芸術的価値と社会的意味」など。神戸大学大学院国際文化科学研究科異文化研究交流センター研究員、川崎医療福祉大学非常勤講師。





猪狩裕史 (いがり・ゆうじ)

米国東ミシガン大学音楽療法科修了後、1998年帰国。

同年『いがり音楽療法研究所』開設。翌年アメリカの音楽療法士の資格(MT-BC)取得(～2008年)。2003年日本音楽療法学会認定資格取得。

発達障害のある方々との音楽療法・教育を実践・研究。また実践教育も行う。

2007年コミュニティ音楽療法を推進する会を設立、「音楽の幅広い普及」と「障害のある人とない人の音楽を通じた交流の促進」を目標に活動。

高田由利子 (たかだ・ゆりこ)

洗足学園音楽大学音楽学部ピアノ専攻卒業。レズリー大学表現療法学科音楽療法・メンタルヘルスカウンセリング科修士課程を修了後、ニューヨーク、ノードフ・ロビンズ音楽療法センターにてディプロマ取得。現在、洗足学園音楽大学非常勤講師。神奈川を中心に障害児・者、高齢者領域で実践。小学校などでコミュニティ・ミュージックのプロジェクトに携わる。日本音楽療法学会認定音楽療法士、ノードフ・ロビンズ音楽療法士。



井上勢津 (いのうえ・せつ)

学習院大学文学部哲学科卒業。東京音楽大学声楽専攻を経て、ノルウェー歌曲研究のため、ノルウェー国立音楽大学に留学。その後、ソグン・フィヨルダネ大学音楽療法コースを修了。現在、日本でノルウェー政府認定音楽療法士として活動を行うほか、日本・ノルウェー両国で文化プロジェクトを展開している。訳書に「わたしだって、できるもん!」(新評論刊)、共訳書に「文化中心音楽療法」(音楽之友社刊)がある。現在、東京音楽大学、東邦大学非常勤講師。

総合ソルフエージュ講座

今村央子 (いまむら・ひさこ)

東京芸術大学作曲科卒業、同大学院ソルフエージュ科修了。パリ国立高等音楽院エクリチュール科、ピアノ伴奏科卒業。ピアノ・リサイタル、レクチャー・コンサート、伴奏、新作初演、雑誌連載等、作曲家＝ピアニストとして独自の活動を展開。主要作品に、尺八・三味線・チェンバロのための「LIMIT CYCLE」、プリペアド・ピアノのための「Promende」等。1998年～2000年、2001～2004年東京芸大非常勤講師。日本ソルフエージュ研究協議会理事。現在、国立音楽大学准教授。



ピアノ講座

クラシックピアノ講座



安井耕一 (やすい・こういち)

国立音楽大学教授。東京藝術大学音楽学部ピアノ科卒業後、リューベック国立音楽大学（ドイツ）でコンラート・ハンゼン教授のもとで研鑽を積む。帰国後、種々の演奏活動を行う。また、音楽工房“響”を主宰。ピアノを横谷瑛司、田村宏、水谷達夫、コンラート・ハンゼン、歌曲伴奏を戸田敏子氏に師事。

ジャズピアノ講座

椎名 豊 (しいな・ゆたか)

そのダイナミックなタッチとピアノ・サウンド、オリジナル曲が世界から注目を集めているジャズ界の逸材。1964年、東京都墨田区生まれ。父親の影響で3歳より本格的なピアノレッスンを始め、国立音楽大学作曲科在学中よりプロとしての活動をスタート。1994年ソロ・デビュー・アルバム「ムーヴィン・フォース」を発表。スイング・ジャーナル誌でも満点の五つ星を獲得して絶賛された。95年ジャズ・ディスク大賞、最優秀新人賞を受賞。現在までに6枚のリーダー・アルバムを発表。世界最高峰のドラマー、エルヴィン・ジョーンズのグループや自己のトリオでアメリカ、ヨーロッパでも毎年、大成功を収めている。また東京フィルハーモニー交響楽団と03年、05年、07年、08年、09年にピアノ・コンチェルト他で共演し、大絶賛を博した。最近では、子ども達のための教育プログラムを展開し、大好評を博している。08年にはミシガン州立大学（デトロイト）で招聘教授として講義を行う。国立音楽大学、夏期音楽講習会では07年より好評を博している。



ピアノ指導者のための

トレーニング・オブ・アナリーゼ講座



鶴崎庚一 (うざき・こういち)

東京芸術大学作曲科卒。作曲理論勉強のためフランス国立パリ高等音楽院留学。一等賞首席(フーガ)。国立音楽大学名誉教授、(社)日本作曲家協議会員、(社)日本音楽著作権協会会員。

[作品] 和声もまなぶピアノアルバム(音楽之友社)、144の新曲練習(カワイ出版)、おさらい会のためのピアノ小品集(レッスンの友社)、視唱73の練習曲(レッスンの友社)、ピアノ小曲集「風が歌う歌」(カワイ出版)、トレーニング・オブ・アナリーゼ＝ブルクミュラー25練習曲(カワイ出版)、ピアノのための譚詩(JFC)、ピアノのための組曲「夢の国から」「オーバード」(カワイ出版)、「冬のもてこし」(全音楽譜出版社)等歌曲、吹奏楽のための「カマラード」(カワイ出版)他木管金管合奏曲、弦楽合奏曲、合唱曲等多数。

オペラ講座 I・II・III

河原忠之（かわはら・ただゆき）

国立音楽大学卒業。同大学大学院修了。91年より渡伊。故アルド・プロッティ氏のもとオペラ伴奏ピアニストを務め数々の演奏会に出演する。またマリア・カルボーネ女史のもとでは伝統的なイタリアオペラの表現にとどまらず、発声法・ディクション等も取得。帰国後はサイトウキネンフェスティバル等でコレペティトールとして活躍。年間ステージは100を超え、リサイタル等のピアニストとしてその幅広い音色、繊細な音楽表現には定評がある。2006年江原啓之「スピリチュアル・ヴォイス・カウントダウン」大阪城ホールにて大阪センチュリー交響楽団を指揮し、指揮者デビューを果たした。また、2008年NHKニューイヤーパーオペラコンサートにおいて、プッチーニの生の映像をバックにプッチーニのピアノ・ソロ曲を演奏し、好評を博した。2009年国立音楽大学音楽研究所公演において、プッチーニのオペラ「つばめ」を指揮してオペラデビューを果たし、確実にこの分野でもキャリアを伸ばしている。

現在、国立音楽大学、大学院准教授。

Gruppo Kappa 代表。



岩森美里（いわもり・みさと）



国立音楽大学卒業、同大学院修了。二期会オペラスタジオ第27期修了。文化庁オペラ研修所第5期修了。文化庁派遣芸術家在外研修員としてウィーンへ留学。二期会オペラスタジオ修了公演でカルメンを演じ特別賞受賞。「フィガロの結婚」のケルビーノ、マルチェリーナ、「蝶々夫人」のスズキ、「ワルキューレ」のヴァルトラウテ/ロスヴァイセ、「神々の黄昏」の第2のノルン、「ラインの黄金」のフリッカ、「カヴァレリア・ルスティカーナ」のサントウツア、「リゴレット」のマッダレーナ、「修道女アンジェリカ」の公爵夫人、「ジャンニ・スキッキ」のゾイータ、「ピーター・グライムス」のセドレー夫人、「アイーダ」のアムネリス、「ドン・

カルロ」のエボリ公女、「ファルスタッフ」のクィックリー夫人等、又、二期会40周年記念原語初上演でカルメンを演じた。新国立劇場では「仮面舞踏会」のウルリカ、「魔笛」の第3侍女、「ワルキューレ」のロスヴァイセに出演。2003年3月には「霊媒」フローラ夫人、ババ役で出演。ベートーヴェンの「第9」、「ミサ・ソレムニス」、ヴェルディの「レクイエム」、モーツァルトの「レクイエム」、ロッシーニ、ドヴォルジャークの「スターバト・マーテル」、メンデルスゾーン「エリヤ」、ヘンデルの「メサイヤ」、バッハの「口短調ミサ」等にも出演。東京二期会、東京室内歌劇場会員。東京芸術大学大学院オペラ科非常勤講師。国立音楽大学准教授。

中村敬一（なかむら・けいいち）

オペラ演出家。鈴木敬介、栗山昌良氏のアシスタントとして演出の研鑽を積む。1989年、文化庁派遣在外研修員として、ウィーン国立歌劇場にて研修。二期会「三部作」、東京室内歌劇場「ヒロシマのオルフェ」、日生劇場「笠地蔵・北風と太陽」で1995年ジローオペラ、新人賞を受賞。2000年「沈黙」で新国立劇場デビュー。2001年「ヒロシマのオルフェ」で大阪舞台芸術奨励賞を受賞。国立音楽大学客員教授、大阪音楽大学講師、大阪教育大学講師。



音楽科教育講座

(兼教員免許状更新講習)

藤沢章彦 (ふじさわ・あきひこ)

国立音楽大学教授。東京都立中学校教諭、東京都立教育研究所指導主事、国立音楽大学助教授を経て現職。平成元年及び平成10年中学校学習指導要領(音楽)作成協力者。全日本音楽教育研究会大学部会副会長。教育芸術社高等学校音楽教科書著作者。



山本幸正 (やまもと・ゆきまさ)

国立音楽大学教授。東京都立高等学校教諭、東京都立教育研究所指導主事、洗足学園音楽大学教授を経て、現職。教育出版高等学校音楽教科書著者(昭和60年～平成7年、平成10年～現在)。日本民俗音楽学会常任理事。日本音楽教育学会、全日本音楽教育研究会大学部会理事。日本学校音楽教育実践学会、日本ポピュラー音楽学会会員。全日本ピアノ指導者協会正会員。中学校・高等学校の指導内容・方法の開発を得意とする。

酒井美恵子 (さかい・みえこ)

国立音楽大学音楽学部器楽学科ピアノ専攻卒業。東京都の公立中学校教諭及び指導主事を経て平成17年度より国立音楽大学にて教職科目を担当。本学准教授。所属学会等として日本音楽教育学会、日本学校音楽教育実践学会など。論文・著作等として「J-POPを合奏教材とした一事例」(音楽教育実践ジャーナル通巻9号、日本音楽教育学会)、「中学音楽が魅力的に変わる!授業プランの新モデル」(編著:明治図書)など。小・中学校での研究授業講師や教育委員会主催の授業に関する研究会講師等の取り組みを通して、ねらいの明確な楽しい授業を現場の先生方と一緒に具体的に考えていくことに意欲をもっている。



丸山智子 (まるやま・さとこ)

東京都東久留米市立第二小学校副校長。国立音楽大学教育音楽学科第I類卒業。東京都立公立中学校教諭、小学校教諭及び東京都教職員研修センター指導主事を経て現職。日本学校音楽教育実践学会に所属。児童の主体的な音楽活動を支援するコンピュータの活用をテーマにした研究、授業実践を得意とする。

山本久美子 (やまもと・くみこ)

宇都宮短期大学准教授、国立音楽大学非常勤講師、特別支援学校教諭を経て現職。武蔵野音楽大学器楽科ピアノ専攻卒業。日本音楽療法学会認定音楽療法士、同評議員、特別支援学校学習指導要領(音楽)改訂協力者。





新谷祥子 (あらや・しょうこ)

国立音楽大学卒業時に武岡賞受賞。ミシガン大学大学院修士課程卒業。第1回日本管打楽器コンクール第2位。打楽器奏者として朗読劇や式典などの音楽プロデューサーなど多数。現在、ボディパーカッション作品が教科書、教材に掲載中。親子向けワークショップなども好評を得ている。国立音楽大学で幼児教育の打楽器授業担当。現在は国内トップアーティストとの共演やCD参加などの他、マリンバ弾きがたりライブを続けている。

今村 能 (いまむら・ちから)

国立音楽大学指揮法講師、ポーランド国立歌劇場指揮者、多摩フィルハーモニア協会音楽監督、今村指揮教室主宰。公式HP <http://www.7b.biglobe.ne.jp/~chikara/>。国立音楽大学卒業。桐朋学園大学指揮科研究生修了、小澤征爾、秋山和慶、尾高忠明、高階正光、フランコ・フェレーラ各氏に師事。カラヤン・コンクール・ジャパンに入賞。カラヤン氏の招きで渡欧。ミラノ・カンテッリ国際指揮者コンクール入選、ザルツブルク国際指揮者講習会入賞。フィテルベルク国際指揮者コンクール優勝。ベルリン・フィル、ミラノ・スカラ座管、ウィーン・フィル木管Ens.、ヘルシンキ・フィル、ワルシャワ・フィル、N響を指揮。読響オーケストラ・ハウス、題名のない音楽会、OE金沢、東京ハルモニア室内オケ、国立音楽大学オペラ研究会指揮者を歴任。国際指揮者コンクール審査員。オランダ・イタリア・ポーランド・ブルガリアの歌劇場、新国立劇場で指揮。



今藤長龍郎 (いまふじ・ちようたつろう)

1969年生まれ。1979年今藤綾子師に入門。1985年今藤長龍郎の名を許される。1991年東京藝術大学邦楽科卒業。以後、国立劇場、歌舞伎座、紀尾井ホール公演、NHK等に出演。2005年ビクター伝統文化振興財団賞奨励賞受賞。2011年ソウル・プサンにて国際交流基金・国立国学院主催「日韓伝統歌舞楽祭」タテ三味線を勤める。作曲も手掛けており、「戀するフリ」(日本舞踊協会新作公演、2009年)、「うれしやかぶき」(NHK教育TV「にほんごであそぼ」、2010年)等がある。国立音楽大学非常勤講師。

福田 隆 (ふくだ・たかし)

東京藝術大学音楽学部器楽科打楽器専攻卒業。同大学院修了。

1973年以降、パーカッショングループ72のメンバーとして打楽器音楽の普及に努め、新作の委嘱、初演等を行う。1976年以降、NHK交響楽団を始めとする在京のオーケストラ、室内楽、現代音楽祭等で打楽器奏者として活動。その後、九州に活動の拠点を移し、熊本ユースシンフォニーオーケストラの指導者に就任。以後、九州内のオーケストラ、吹奏楽団、アンサンブル等の指揮者、トレーナーを務める。

1986年ベルリンフィルハーモニーオーケストラ・カラヤンアカデミー留学。

1993年熊本市人づくり基金を得て、ザルツブルグ・モーツァルテウム・オルフ研究所留学。

現在、本学教授、西日本打楽器協会理事。





井上恵理 (いのうえ・えり)

東京藝術大学音楽学部楽理科卒業、ジュネーブ・ジャック=ダルクローズ学院卒業。(リトミック国際ライセンス、同ディプロマ取得) その後、学院にて専門コースのリトミック、即興演奏、子どものクラスのリトミック講師、及びジュネーブ・コンセルヴァトワールで即興演奏の講師をつとめる。現在、玉川大学、横浜高等教育専門学校の講師をつとめるかたわら、各地の全日本リトミック音楽教育研究会、ジュネーブ・ジャック=ダルクローズ学院の夏期講習会、香港芸術演芸学院などでリトミックの指導をしている。

全日本リトミック音楽教育研究会本部講師、日本ジャック=ダルクローズ協会副会長、「リズムの森」主宰。現在、本学准教授。

幼児教育講座

新谷祥子 (あらや・しょうこ)

国立音楽大学卒業時に武岡賞受賞。ミシガン大学大学院修士課程卒業。第1回日本管打楽器コンクール第2位。打楽器奏者として朗読劇や式典などの音楽プロデュースなど多数。現在、ボディパーカッション作品が教科書、教材に掲載中。親子向けワークショップなども好評を得ている。国立音楽大学で幼児教育の打楽器授業担当。現在は国内トップアーティストとの共演やCD参加などの他、マリンバ弾きがたりライブを続けている。



宇佐美明子 (うさみ・あきこ)

東京藝術大学大学院美術研究科修了。専門は美術教育。共著書には『子どもの表現を見る、育てる、音楽と造形の視点から』『幼児の保育と教育 質の高い保育ビジョンを求めて』『おいつめられる男の子・どっちつかずの女の子』。大学美術教育学会、美術科教育学会、日本保育学会会員など。本学教授。

右手 和子 (うで・かずこ)

東京生まれ。舞台芸術学院卒。声優、紙芝居研究家。1985年には紙芝居の最高賞である第24回高橋五山賞特別賞を受賞。紙芝居の実演指導や紙芝居の公演で全国各地を巡回するほか、ラジオ・テレビの番組にも出演するなど多彩な活動をしている。子どもの文化研究所、日本幼児教育研究会講師。

[主な著作]

右手和子(1986) 紙芝居のはじまりはじまり—紙芝居の上手な演じ方, 童心社
共著 (1999) 紙芝居をつくる, 大月書店





神原雅之 (かんばら・まさゆき)

国立音楽大学教育音楽学科第Ⅱ類（リトミック専攻）卒業、広島大学大学院学校教育研究科修了（教育学修士）。現在、国立音楽大学教授、副学長。日本ダルクローズ音楽教育学会理事、リトミック研究センター理事、他。

著書：『子どものためのリトミック de 発表会』、『世界の歌を遊ぶリトミックゲーム 67 選』、『リズム&アクションでつくる音楽鑑賞の授業』、『リズム&ビートにどっぷり！リトミック 77 選』（以上、明治図書）他多数。

黒須和清 (くろす・かずきよ)

東京教育大学教育学部芸術学科卒業後、フリークリエイター。現在、洗足こども短期大学専任教授。聖心女子専門学校非常勤講師。



後藤紀子 (ごとう・のりこ)

国立音楽大学教育音楽学科幼児教育専攻卒業後、河合楽器を経て現在、和光大学准教授、本学及び聖心女子専門学校非常勤講師。他に児童館での指導、保育者研修会活動、あそび歌の作詞作曲やパネルシアターの創作などの活動を行っている。

《主な著書》

『あそびうたハンドブック』あそびうた研究会編 カワイ出版

ミニカラーパネルシアター『さ～て、このこはだ～れ？』『ママのおけしょう』

『森のアイスクリーム屋さん』（有）アイ企画

『つくって うたって あそべるパネルシアター』（有）アイ企画

『いっしょにあそぼう！みんなのあそびうた』（有）アドグリーン企画



繁下和雄 (しげした・かずお)

国立音楽大学教育音楽学科卒業、同大学専攻科音楽教育学専攻修了。国立音楽大学に勤務する一方、養護学校、夜間高校、小学校の音楽教師（非常勤）を歴任する。また、NHK 学校放送番組委員、厚生省中央児童福祉審議会文化財部会委員なども歴任。幼児音楽研究会会長、本学名誉教授。



リトミック講座

井上恵理 (いのうえ・えり)

東京藝術大学音楽学部楽理科卒業、ジュネーブ・ジャック=ダルクローズ学院卒業。(リトミック国際ライセンス、同ディプロマ取得) その後、学院にて専門コースのリトミック、即興演奏、子どものクラスのリトミック講師、及びジュネーブ・コンセルヴァトワールで即興演奏の講師をつとめる。現在、玉川大学、横浜高等教育専門学校の講師をつとめるかわら、各地の全日本リトミック音楽教育研究会、ジュネーブ・ジャック=ダルクローズ学院の夏期講習会、香港芸術演芸学院などでリトミックの指導をしている。全日本リトミック音楽教育研究会本部講師、日本ジャック=ダルクローズ協会副会長、「リズムの森」主宰。現在、本学准教授。



箭川玲子 (やがわ・れいこ)

国立音楽大学教育音楽学科 II 類卒。同大学院音楽教育科修了。小学校教員を経て、日立武蔵女子学園で音楽教師、幼稚園、保育園でリトミック講師を務める。国立音楽大学では、リトミック、ソルフェージュ、キーボードハーモニー、合唱、即興演奏等を担当、現在にいたる。また特定非営利活動法人リトミック研究センター副会長、研究室長として指導に当たる。表現活動として、室内楽、伴奏、合唱指揮など演奏活動も広く展開している。現在、本学非常勤講師。

馬淵明彦 (まぶち・あきひこ)

1969年国立音楽大学教育音楽科リトミック専攻卒業。83年ジュネーブ・ジャック=ダルクローズ音楽院にてリトミック国際ライセンス、翌年同ディプロマを取得。99年～02年日本ジャック=ダルクローズ協会会長。現在、本学非常勤講師、ジュネーブ・リトミック国際大会講師、「Studio Jaques」代表、NHK ラジオ高校講座「音楽 I」担当・出演、日本ジャック=ダルクローズ協会理事、日本ダルクローズ音楽教育学会会員。日本ソルフェージュ研究協議会正会員。



石丸由理 (いしまる・ゆり)

国立音楽大学リトミック専攻卒。ロンドンにて、ダルクローズリトミック国際ライセンス取得。ニューヨーク大学 大学院卒。

<現在>

ユリ・リトミック教室主宰、NHKBS「ななみ DE どーも!」制作スタッフ、「ベネッセ こどもチャレンジ」リトミック制作・監修、NHK 学園講師。

音楽教材『ともだちシリーズ』としてピアノ、ソルフェージュ、音楽教材ノート、リトミック理論書として『ダルクローズのリトミック』

絵本『リトミックだいすき!』ほか、リトミックに関する教材著書など多数出版。

神原雅之 (かんばら・まさゆき)

国立音楽大学教育音楽学科第Ⅱ類(リトミック専攻)卒業、広島大学大学院学校教育研究科修了(教育学修士)。現在、国立音楽大学教授、副学長。日本ダルクローズ音楽教育学会理事、リトミック研究センター理事、他。

著書：『子どものためのリトミック de 発表会』、『世界の歌を遊ぶリトミックゲーム 67 選』、『リズム&アクションでつくる音楽鑑賞の授業』、『リズム&ビートにどっぴり！リトミック 77 選』(以上、明治図書)他多数。



坂本真理子 (さかもと・まりこ)

国立音楽大学教育音楽学科Ⅱ類リトミック専攻卒業。リトミック音楽教室「子供の庭」主宰。NHK文化センター「教師のためのリトミック」講座講師。NHK教育テレビ、学校放送でリトミックを担当、作詞、作曲と番組制作委員を務める。ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン「熱狂の日」音楽祭 2009 で、J.S.バッハをテーマにした「キッズプログラム」の講師を務める。現在、全日本リトミック音楽教育研究会常任理事、本部指導講師。著者：「こんにちは！リトミック」(オブラパブリケーション)

櫻田素子 (さくらだ・もとこ)

国立音楽大学教育音楽学科1類卒。ガムラン奏者、ガムラングループ Terang Bulan 主宰。バリ伝統曲演奏、ガムラン音楽創作、コラボレーション、ソロ演奏から大編成ガムランのディレクション、ワークショップなど、活動は多岐に渡る。バリ芸術祭へたびたび出演、和楽器を取り入れた楽曲やバリ島のコンテンポラリー芸術家集団との共演など、いずれも自ら作曲した作品を発表、バリと日本の感性を絶妙にミックスした独自の音世界が、現地で高い評価を受ける。こどもたちと音楽の出会いを演出し、独自の的方法論による音楽表現ワークショップ・コンサートも行なう。芸術教育研究所客員研究員、音工場 Omori・INJ カルチャーセンター・横浜ガムランの会ガムラン講師。著書：『ガムラン、ゆらぎの音色』(プリズム社,2008)、『ワクワク音あそび・リズムあそび』(黎明書房,2003)、CD：『ASIAN MUSE~亜細亜的女神~』(東芝 EMI,2004) <http://www.yk.rim.or.jp/~onmoto/>



塩原麻里 (しおばら・まり)

国立音楽大学教育音楽学科第Ⅱ類(リトミック専攻)卒業、ロンドン・ダルクローズスクール修了(リトミック国際ライセンス取得)、ロンドン大学教育研究所博士課程修了(音楽教育学 Ph.D)。東京学芸大学教授を経て、現在、国立音楽大学教授。日本ダルクローズ音楽教育学会理事、ISME・CMA コミッショナー、アジア・パシフィック CM ネットワーク設立メンバー。研究分野は音楽と動き、日英音楽教育比較、音楽の文化アイデンティティ、他。

杉山智恵子 (すぎやま・ちえこ)

東京藝術大学器楽科卒。聖徳大学、埼玉大学、東京芸術大学、警察音楽隊講師、日本打楽器協会理事。日本ジャック=ダルクローズ協会（F I E R日本支部）理事、リズムランド主宰、全日本吹奏楽コンクール審査員、東京吹奏楽団団員。打楽器及びマリンバ奏者として、多くのコンサート、レコーディングに参加。2000年ダルクローズリトミック国際サティフィケート取得。近年は、国内外にて演奏会・公演を精力的に行い、幼児からシルバー世代、初心者から専門家まで、様々な人を対象にした音楽教育指導にも力を注いでいる。



中明佳代 (なかあき・かよ)

1997年国立音楽大学音楽教育学科リトミック専攻卒業後、2000年スイス、ジュネーヴ・ジャック=ダルクローズ学院に留学。2002年にリトミック国際ライセンス取得、2007年にディプロムを取得。同時期にジュネーヴ音楽大学の作曲科にも在籍し、2008年作曲ディプロムを取得。2008年リトミック国際大会（東京）で指導。2010年日本帰国まで、スイスで子供から大人までのリトミックのクラスを指導。

中館栄子 (なかだて・えいこ)

国立音楽大学教育音楽科（Ⅱ類）卒業、同専攻科修了。リトミック、プラスチックアニメ、歴史的・民族的ダンス、ソルフェージュ、音楽教育学、舞踊史、舞踊美学を学び、各地で活動している。日本音楽学会会員、日本音楽教育学会会員、日本ソルフェージュ研究協議会員、日本ダルクローズ音楽教育学会副会長、日本ジャック=ダルクローズ協会常任理事、全日本リトミック音楽教育研究会常任理事、古典舞踏研究会会員、Ensemble Eurhythmics 代表。元国立音楽大学准教授、現在東京女子体育短期大学・都留文科大学講師。



藤田佐知子 (ふじた・さちこ)

国立音楽大学教育音楽学科Ⅱ類（リトミック専攻）卒業。和太鼓集団婢弥鼓に所属、国内外で演奏、指導を行う。「スタジオジャック」「リズムの森」講師。淑徳幼児教育専門学校兼任講師。

リトミック指導者研究会 Atelier de Jaques の研究科 M.I.E.R. de “Atelier de Jaques”にて長年にわたりプラスチックアニメを研究。リトミック国際大会（於：ジュネーヴ）にてビデオ作品を発表。モスクワ国際ダンスフェスティバルに参加。

八重田美衣 (やえだ・みえ)

国立音楽大学教育音楽学科卒業。ニューヨーク大学大学院音楽療法学科修士課程修了。ニューヨーク大学ノードフ・ロビンズ音楽療法センターディプロマ取得。帰国後、緑成会病院整育園音楽療法士を経て、現在、国立音楽大学、青山学院大学、昭和音楽大学、日本大学芸術学部兼任講師、日本心身障害児協会島田療育センター非常勤音楽療法士。共訳書に、ケネス・E・ブルーシア著「即興音楽療法の諸理論（上）」（人間と歴史社）、ポール・ノードフ/クライブ・ロビンズ共著「子どものためのプレイソング」（音楽之友社）がある。日本音楽療法学会認定音楽療法士。

